

議会だより



やまきた

第167号

平成23年11月1日



やまきた健康スポーツ大会に花を添えるソーラン山北の皆さん

目次

- 平成23年第3回定例会・第4回臨時会……P2～4
- 委員会審査報告……P5～7
- 審議結果……P8
- 一般質問……P9～15

平成23年第3回定例会(9月議会)

平成23年第3回定例会を9月5日から15日までの11日間で開催しました。

主な議題は平成22年度決算の認定で、他に条例改正2件、補正予算11件、工事請負契約1件、人事4件、陳情2件、報告3件を審議しました。

平成22年度決算の認定

総務環境常任委員会並びに福祉教育常任委員会に付託し、各委員会で審査(委員会審査報告)を行い、その後の本会議において全員賛成で認定しました。

込めないと考えています。

府川議員 国の財政状況により臨時交付金が減額され、町の政策推進に影響はないか。

答弁 平成21年度に実施した国の定額給付金事業の廃止に伴う減額なので、町の政策推進には影響ありません。

「主な質問」

原議員 収入が19年度をピークに年々下り、収納率も上らない状況にある中で、今後の対応と見込みをどのように考えますか。

答弁 収納率の向上は夜間徴収や県の指導を受けて取り組んでいるが、さらに就職斡旋などの違う方法を取り入れ検討する。今後の見込みは景気の低下や地価の下落などにより増収は見

難しい。

渡辺議員 特別職報酬審議会は町長に密着した委員会なので開催し、町民の意見を広く聞く必要がある。

答弁 選挙公約なので、聞く必要がないと判断しました。

条例改正

【山北町税条例の一部改正】

地方税法の一部改正に伴い、山北町税条例の過料の上限額3万円を10万円に改めるもので、全員賛成で可決しました。

【山北町砂利採取税条例の一部改正】

地方税法の一部改正に伴い、山北町砂利採取税条例の過料の上限額3万円を10万円に改めるもので、全員

賛成で可決しました。

平成23年度補正予算

【一般会計】

歳入歳出それぞれ2億7740万1千円を追加し、歳入歳出の総額を52億8489万4千円とするものです。主な歳入は普通交付税、地方交付税の確定及び災害復旧に係る町債の増額で、主な歳出は災害復旧費を増額するもので、全員賛成で可決しました。

「主な質問」

川村議員 農林水産業債と土木債を臨時財政対策債に切り替える理由は何か。

一般単独事業債の償還期限はどのくらいか。

答弁 臨時財政対策債は元利償還金の金額が地方交付税に算入されるので借り換える。また、一般単独事業債の償還期限は最長10年です。

小栗議員 当初予算で計画された事業を1年遅らせる理由は何か。

答弁 今回の震災を受け、国からの助成金が入らない可能性があるため、24年度当初予算に計上する。

渡辺議員 自主防災対策事業の補助限度額を引き上げたが、自主防災に対する行政と地域の認識が違っているので、自主防災組織の啓発をどのように進めるか。

答弁 山間部を多く抱えているので、解消できるよ

う啓発活動を行います。

瀬戸(顯)議員 職員採用試験委託料の内容と職員採用の方法について伺う。

答弁 委託料は能力及び性格試験の実施並びに採点と合わせた性格判断を民間会社に委託するものです。

採用方法は民間会社に委託した二次試験を基にして5対5の集団面接及び理事者を入れた個人面接を行った中で、採用者を決定します。

鈴木議員 自動体外除細動器は公共施設すべてに設置されたか。

答弁 計画どおり25か所の公共施設等に設置しましたが、今後も必要な所には設置していきます。



自動体外式除細動器

瀬戸(恵)議員 みつまたによる地域づくり助成金はどのような内容に使われるのか。

答弁 みつまたを啓発するための案内板2基を設置するものです。

藤原議員 公民館の空調施設等は維持管理計画を立て、計画的に修繕するべきと思うがどうか。

答弁 公民館の維持管理は、施設等の維持管理も含めた管理計画を立てます。

【国民健康保険事業特別会計】

主な歳入は一般会計繰入金
の増額で、主な歳出は出産育児一時金の増額及び医療給付費国庫負担金の確定による国庫返納金を計上するもので、全員賛成で可決しました。

【主な質問】

【渡辺議員】

後期高齢者医療制度への移行により国保会計に負担義務が生じたか。国保会計の広域化はどうなっているか。後期高齢者医療制度の見直し状況は。

答弁 後期高齢者支援金の支出が発生したが、税率は上げないで、国保会計財政調整基金を充てて対応してきました。国保会計の広域化は都道府県単位での運営で協議しています。制度の見直しは75歳以上の高齢者を国保加入者とする方向で国会で審議しています。

【介護保険事業特別会計】

主な歳入は新規福祉施設建設事業県補助金及び前年度繰越金で、主な歳出は新規福祉施設建設事業県補助金及び一般会計繰出金を増額するもので、全員賛成で可決しました。

【主な質問】

【瀬戸(顯)議員】

福祉施設の建設に係る土地の所有権は移転されたか。通所者の住所変更はないのか。運営経費の町負担はないのか。

答弁

会社と地権者で売買契約をし、所有権移転をすることになっています。特養とは違い住所の変更はしなくてもよく、運営経費の町負担はありません。

【後期高齢者医療・災害給付見舞事業・下水道事業・町設置型浄化槽事業・山北財産区・共和財産区・三保財産区・商品券の各特別会計】

前年度繰越金の確定による補正であり、全員賛成で可決しました。

【工事請負契約】

【河村城址歴史公園整備工事(土橋2)】
契約金5512万5千円・(株)山崎組(山北町岸 代表取締役山崎将明)であり、全員賛成で可決しました。

人 事

【教育委員会委員の選任】

現委員の岡部達也氏(谷ケ)は平成23年9月30日をもって任期満了となるため引き続き選任したい旨の提案がされ、全員賛成で同意しました。

【山北財産区管理委員の選任】

平成23年9月24日をもって任期満了となるため、石川治夫氏(山北)・瀬戸聰氏(山北)・岡部優氏(山北)・川口修功氏(岸)・野地文男氏(岸)・湯川宏氏(向原)・瀬戸功氏(向原)の7名の選任が提案され、全員賛成で同意しました。

【共和財産区管理委員の選任】

平成23年9月24日をもって任期満了となるため、瀬戸正見氏(都夫良野)・岩本宣夫氏(都夫良野)・杉本一氏(皆瀬川)・山崎幸興氏(皆瀬川)・富山基録氏(皆瀬川)・杉本正好氏(皆瀬川)・井上貞雄氏(皆瀬川)の7名の選任が提案され、全員賛成で同意しました。

【三保財産区管理委員の選任】

平成23年9月24日をもって任期満了となるため、岡部修氏(中川)・佐藤義治氏(中川)・細川貞夫氏(中川)・高橋常一氏(中川)・佐藤敬氏(神尾田)・杉本正光氏(玄倉)・佐藤勉氏(玄倉)の7名の選任が提案され、全員

賛成で同意しました。

報 告

【専決処分の承認】

台風6号により被災した各施設の災害復旧を実施するため一般会計補正予算(第4号)を専決処分したものであり、全員賛成で承認しました。

は何か。

答弁 子ども手当を国の10分の10の補助金で見込んでいたので、国の動向を見るために予備費でなく基金で充当しました。

【平成22年度山北町の健全化判断比率及び資金不足比率の報告及び平成20・21・22年度山北町一般会計継続費精算報告】
継続費精算報告は町道55号線(水上橋)橋梁架替事業の精算報告です。

【主な質問】

【川村議員】

財源を予備費から充当するのでなく財政調整基金を取り崩した理由



完成した水上橋

陳情

〔拡大生産者責任(EPR)及びデポジット制度法制化を求める意見書の採択及び地方消費者行政充実のための国による支援に関する陳情書〕

2件の陳情書は総務環境常任委員会に付託し、委員会で審査を行い、その後の本会議において全員賛成で趣旨採択としました。

第4回臨時会 (7月20日開催)

一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ250万円追加し、歳入歳出の総額を49億8849万3千円とするものです。主な歳入は雑入250万円の増加で、主な歳出は企画費253万2千円、教育総務費事務局費237万4千円などの増額であり、全員賛成で可決しました。

〔主な質問〕

佐藤議員 パークゴルフ場の備品は何を購入するの

か。ゴルフ場の使用料は有料だが、備品等の使用料は町民と町外者の方では違うのか。

答弁 クラブ・放送設備・貸しロッカーを購入する。備品類は町民、町外者関係なく無料で貸し出します。

渡辺議員 町長の政策で給食費を4分の1補助しているが、給食室の改築に伴う補助は別に区分すべきではないか。

答弁 科目を設定し、町長の政策と給食室の改築による補助を明確にしています。



現在の第11分団の消防自動車

工事請負契約

〔浅間山農道整備工事(第一工区)〕

契約金6216万円・(株)山崎組(山北町岸・代表取締役山崎将明)であり、全員賛成で可決しました。

動産の取得

〔小型動力ポンプ付積載車購入(第11分団)〕

契約金913万5千円・(株)田中モータース(山北町山市場・代表取締役田中博幸)であり、全員賛成で可決しました。

委員会審査報告

総務環境常任委員会

- 委員長 岩本 章治
- 副委員長 渡辺 良孝
- 委員 川村 俊治
- 同 原 憲司
- 同 佐藤 光男
- 同 府川 輝夫
- 同 瀬戸恵津子

総務環境常任委員会では、一般会計のうち政策秘書課、企画財政課、総務防災課、税務課、生活環境課、産業観光課、都市整備課、定住対策室、会計課の所管に属する事項および災害給付見舞事業、下水道事業、町設置型浄化槽事業、山北・共和・三保財産区、商品券の各特別会計を審査しました。

一般会計

府川委員 総務省発表の数値と町の誤差の要因は。

企画財政課長 総務省のベースが、町の災害給付見舞、町設置型浄化槽、商品券各会計を含めたものが一般会計に含まれているためです。

原委員 ぶなの湯の使用料が半分の450万円になった経緯は。

産業観光課長 台風9号、3月の大震災もあり、利用者の約5000人減が要因です。

佐藤委員 固定資産税の不納欠損の内訳と差し押さえ等の説明を。

税務課長 内訳は19名74件です。すでに財産がなく、または抵当権が設定されている場合など、差し押さえの効果が見込めないためです。

川村委員 住民に光を注ぐ交付金で何を購入したのか。

企画財政課長 中央公民館に児童用図書、DVD、本棚等を購入しました。

瀬戸(恵)委員 空家の利用状況は。

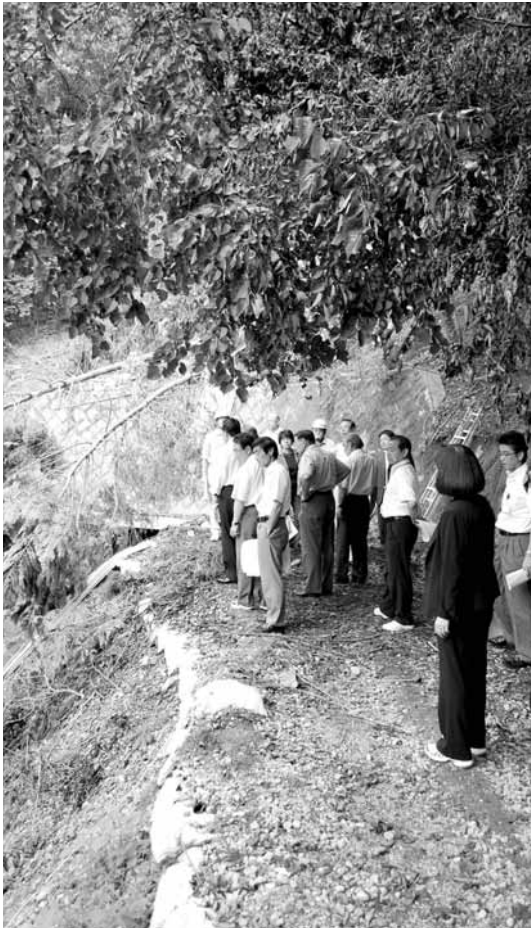
定住対策室長 補助事業

対象は3戸で、岸、共和、三保の各地域です。

渡辺委員 循環バスは町づくり交付金を運用しているが財源は安定しているのか。

企画財政課長 町づくり交付金は22年度で終了するため、23年度以降は、特別交付税で対応します。

岩本委員 日向活性化施設の利用率が上がりません。



沢見沢林道災害現場

瀬戸(恵)委員 緊急雇用創出事業とふるさと雇用事業の内容は。

企画財政課長 緊急雇用創出事業は、町道や農林道の路面清掃、桜並木の消毒などで、ふるさと雇用事業は、ファミリーサポート事業300万円、ウッドボイス事業600万円です。

岩本委員 橋梁長寿命計画の調査結果は。

都市整備課長 調査が完了したので、24年度から工事費を計上し業務を進めていきます。

佐藤委員 水防費で、消防団員が会議等に出る旅費は、消防団活動事業に統合

してよいのでは。

総務防災課長 9号台風の対応として支払ったもので、水防活動と火災活動と区分しています。

原委員 沢見沢林道は二度の災害を受け、神縄、三保地域の方々は非常に困る。繰越明許にせず、早期に工事着上できなかったか。

都市整備課長 応急復旧等専決処分に対応し、工事はしたが、今年の台風6号で被災してしまいました。国庫補助の対応上繰越明許はやむを得ない措置でありました。

町長 昨年の台風9号後、2度被災したので関係する自治会に連絡し、県や旅館組合等と協議しています。

府川委員 第6次行政改革大綱で22年度の行政評価制度の取り組み状況は。

企画財政課長 行政評価制度の位置づけはできていませんが、今後策定する自治基本条例に盛り込み、26年度末までに制度化を図ります。

佐藤委員 遠藤奨学金は運用益が多いが証券か。

会計管理者 証券と東京電力の株式配当です。

以上で質疑を終了し、採決の結果全員賛成で了承しました。

自治会に連絡し、県や旅館組合等と協議しています。

特別・水道事業会計

下水道事業

川村委員 普及率と接続率はどうか。

生活環境課長 普及率は78・8%、接続率は80・9%です。

佐藤委員 滞納繰越金があるが、公共桝から接続している世帯はあるのか。

生活環境課長 接続しているのは5世帯あり、使用料は分納措置を取っています。

— 町設置型浄化槽事業 —
渡辺委員 個人世帯の普及率はどうか。

観光関係事業所の施設はどのように進めるのか。

生活環境課長 一般家庭では、128世帯に対して、91世帯整備が完了で71・1%です。

観光関係事業所は、自己負担が多額となるので、助成拡大に向けて、国・県と調整中です。

岩本委員 リン除去の電極板交換料は利用者負担か。

生活環境課長 町が負担しています。

— 商品券 —
原委員 換金率ほどの位か。

産業観光課長 決算上の換金率は93・7%です。

瀬戸(恵)委員 敬老祝い金に使われる割合は。

産業観光課長 22年度619万3千円で45%です。

— 水道事業 —
渡辺委員 21年度から使用料・収入金額が相当減額になっている要因は。

生活環境課長 一般家庭でもペットボトルを購入し、洗濯機なども節水型になっています。また、企業が増えないことや、ハイツ&ヴィラの閉館等が考えられます。

以上で質疑を終了し、採決の結果全員賛成で了承しました。

陳情

付託された陳情を審査しました。

拡大生産責任(EPR)及びデポジット法制度化を求める意見書採択について

川村委員 この陳情書は、どのような品目を、どのようにやっていくのか。

議会事務局長 神奈川新聞によると、国の方針として、電子機器45品目の回収を制度化し、来年度法制化する作業を進めることが記載されています。

原委員 生産者の責任になるが町としてどうか。

生活環境課長 価格の上乗せによる消費者への影響を考慮して他町の動向を見ていきます。

岩本委員 この制度が導入になると町にどのような影響が生ずるか。

生活環境課長 デPOSITトがどのような形になるかで、収益形態が変わり、影響が生じます。

原委員 継続審査でも良いのではないか。

以上で質疑を終了し、採決の結果賛成多数で、趣旨採択としました。

地方消費者行政充実のための
国による支援に関する陳
情について

川村委員 消費者行政は、
南足柄市を含む1市5町で
実施しているが、山北町で
消費生活についての相談者
はいるか。

産業観光課長 昨年総数
381件、山北町は27件の
報告があります。

川村委員 専門知識が必
要で今まで通りで良いと思
う。

産業観光課長 消費者行
政活性化交付金で事業を实
施しています。1町で専門
性の高い相談員を置くのは
難しく、覚書を交わし広域
で運営しています。

以上で質疑を終了し、採
決の結果全員賛成で趣旨採
択としました。

委員会審査報告

福祉教育常任委員会

- 委員長 鈴木登志子
- 副委員長 瀬戸 顕弘
- 委員 藤原 浩
- 同 石田 照子
- 同 熊澤 友子
- 同 小栗 直治
- 同 池谷 莊次郎

福祉教育常任委員会では、一般会計のうち町民課、福祉課、健康づくり課と教育委員会所管に属する事項および国民健康保険事業、老人保健医療、後期高齢者医療、介護保険事業の各特別会計を審査しました。

一般会計

小栗委員 不納欠損と収
入未済額を減らす方法はな
いか。

町長 県から徴収員を派
遣していただき滞納者の情
報を調査したが、他の税等
も滞納している傾向がある
ので、横の連携をとり徴収
交渉を行っていきます。

小栗委員 山北町社会福
祉協議会の補助金が減額と
なった理由は何か。

福祉課長 職員の入替
えによる人件費の減です。

熊沢委員・藤原委員 心
の健康対策事業の目的は何

か。

福祉課長 事業内容は、
自殺対策の緊急強化で、の
ぼり旗やリーフレットの配
布をしています。自殺が増
えていますので、足柄上保
健福祉事務所を中心に啓発
をしています。精神的な
ことも含めて取り組んでい
ます。

瀬戸(顯)委員 火葬業務
事業の不用額の内訳は。

福祉課長 主なものは県
西地域広域斎場建設協議会
負担金93万4千円で、事業
用地の見直しによるもので
す。

瀬戸(顯)委員 県西地

域広域斎場建設協議会が解
散したが、山北町としてど
のように推進していくのか。

町長 広域斎場の枠組み
は変わっていません。建設
地については、現在、小田
原市が調整しています。

石田委員 女性特有のが
んの無料クーポンが発行さ
れているが、受診率は。

健康づくり課長 子宮頸
がん検診は、受診率19・3
%で、乳がん検診は、受診
率33・7%です。

小栗委員 町民健康マイ
スター講座を卒業したマイ
スターの活動は。

健康づくり課長 講座の



健康マイスターの活動

修了者は、4年間で87名で、
ガイドウォークや体力測定
などの自主的な健康づくり
事業のほか、認知症を啓発
する劇を上演しました。

池谷委員 カヌーマラソ
ン大会以外に丹沢湖で自由
にカヌーを浮かべることが
できないか。また、年間ど
のくらいの収入があるのか。

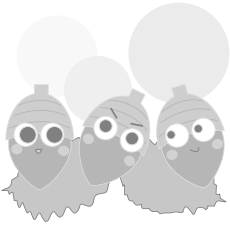
町長 焼津地区から有料
で、自艇による開放を行っ
ていますが、玄倉周辺の開
放は県と協議していきます。
20万4千円が環境整備公社
の収入になっています。

熊沢委員 放課後子ども
教室推進事業の決算額が予
算額の半分になっている理
由は。

生涯学習課長 開設が6
月にずれ込んだことと、コ
ーデイネーターと安全管理
員が毎回全員出席できな
かったためです。

小栗委員 教育費事務局
の賃金及び需用費の執行
残の理由は。児童生徒への
影響がなかったのか。

学校教育課長 賃金は、
給食調理員及び介助員の勤
務日数の減です。学校の需
用費は、光熱水費の節約に
よるものですので、児童生
徒への影響はありません。





放課後子ども教室

石田委員

放課後子ども教室と学童保育は同じ場所
で実施し、利用しやすい環
境づくりはできないか。

町長

2つの事業を一緒
に行うのは難しいが、今後
学校で学童保育ができるよ
う考えていきます。

瀬戸(顯)委員

学校教育
の中で学校童謡唱歌教育の
推進ができたか。また、英
語補助教員設置事業の状況
は。

学校教育課長

学校では
朝の会や給食、掃除の時間
に音楽を流しており、幼稚
園では童謡唱歌を子ども達

に教えています。

また、英語補助教員は、

小学校1名、中学校1名で、
幼稚園・保育園にも行って
います。

以上で質疑を終了し、採
決の結果全員賛成で了承し
ました。

特別会計

— 国健康保険事業 —

小栗委員

国保会計へ一
般会計から繰り出しを行っ
ているが、将来的な見通し
は。

町民課長

国・県からの
補助金や町からの繰入金以
外の不足部分は、受益者負
担が基本原則で、税で賄う
ことになっているが、加入
者の負担を考えた場合、赤
字分を全て税に上乗せする
のも難しいので、慎重に対
応したいと考えています。

池谷委員

基金の残高が
少なくなってきたが、一般
会計からの繰り入れは難し
いと思うが、どのように考
えているか。

町長

後期高齢者医療と
一体となる話もあるの
で、状況を見ながら、受益
者負担、町負担等を考慮し
ながら検討していきます。

池谷委員

基金が底をつ
くのは見えていた訳で、こ
の辺の審議を以前からすべ
きではなかったのか。運営
協議会経費を残すのではな
く、回数を増やした方が良
かったのではないか。

町民課長

国保税率等に
ついては、これまでも会議
の中で逐次検討していただ
きましたが、今後は回数を
増やして検討します。

小栗委員

医療費が下が
るような予防策と健康づく
りをどのように推進してい
るか。

町民課長

予防事業は、
特定健康診査や人間ドック
への助成を行っています。

町長

受益者負担や町と
して何ができるかを考えて
いきます。

池谷委員

ジェネリック
医薬品を使うことによつて
どのような効果と医療費の
削減が図られたか。

町民課長

平成22年度は、
ジェネリック医薬品の普及
パンフレットを送付し啓発
を行いました。効果につい
ては、保険者の医療費が下
がることと患者の自己負担
の減少が見込まれますが、
医療費の削減数値の把握は
できていません。

町長

ジェネリック医薬
品については、三師会と話
し合つて行きます。

町民課長

以上で質疑を終了し、採
決の結果全員賛成で了承し
ました。

— 老人保健医療 —

老人保健医療

質疑もなく、採決の結果
全員賛成で了承しました。

— 後期高齢者医療 —

池谷委員

収入未済額の
内容は。

福祉課長

対象者は16名
で、未済の方は年金が少な

い方やない方で、生活困難
な方です。

以上で質疑を終了し、採
決の結果全員賛成で了承し
ました。

— 介護保険事業 —

瀬戸(顯)委員

不納欠損
額・収入未済額の内訳は。

福祉課長

不納欠損は16
名で、主に生活困窮者です。
収入未済額については98名
です。

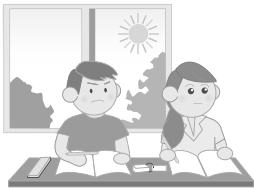
鈴木委員

特定高齢者は
何人か。

福祉課長

132人が特
定高齢者です。

以上で質疑を終了し、採
決の結果全員賛成で了承し
ました。



審議した議案と議員の賛否

平成 23 年第 4 回臨時会 (7月20日)

議案番号	議 案	議員名 (議席順)	結果	川村俊治	原 憲司	渡辺良孝	藤原 浩	岩本章治	石田照子	佐藤光男	熊澤友子	府川輝夫	瀬戸顯弘	小栗直治	鈴木登志子	瀬戸恵津子	
				結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果
51	平成23年度山北町一般会計補正予算(第3号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	平成23年度中山間地域総合整備事業浅間山農道整備工事(第1工区)請負契約の締結について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	動産の取得について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成 23 年第 3 回定例会 (9月5日～15日)

議案番号	議 案	議員名 (議席順)	結果	川村俊治	原 憲司	渡辺良孝	藤原 浩	岩本章治	石田照子	佐藤光男	熊澤友子	府川輝夫	瀬戸顯弘	小栗直治	鈴木登志子	瀬戸恵津子	
				結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	
54	山北町税条例の一部を改正する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	山北町砂利採取税条例の一部を改正する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	平成23年度山北町一般会計補正予算(第5号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	平成23年度山北町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)		可 決														
58	平成23年度山北町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)																
59	平成23年度山北町災害給付見舞事業特別会計補正予算(第1号)																
60	平成23年度山北町下水道事業特別会計補正予算(第1号)																
61	平成23年度山北町町設置型浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	平成23年度山北町山北財産区特別会計補正予算(第1号)																
63	平成23年度山北町共和財産区特別会計補正予算(第1号)																
64	平成23年度山北町三保財産区特別会計補正予算(第1号)																
65	平成23年度山北町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)																

66	平成23年度山北町商品券特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
67	平成23年度河村城址歴史公園整備工事(土橋2)請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	山北町教育委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69	山北町山北財産区管理会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70	山北町共和財産区管理会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
71	山北町三保財産区管理会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告 10	専決処分の承認について(平成23年度山北町一般会計補正予算(第4号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告 11	平成22年度山北町の健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報 告 の み													
報告 12	平成20・21・22年度山北町一般会計継続費精算報告について	報 告 の み													

○は賛成、●は反対を表しています。池谷荘次郎議長は、採決に加わりません。
また、報告(専決処分を除く)については、採決の対象となりません。

一 般 質 問

- 議員が行財政全般にわたって執行者(町長)に疑問をただし、所信の表明を求める議員主導の政策論争です。
- 質問議員は前もって質問要旨を通告し、答弁の準備の時間を確保することになっています。
- 質問として適当でないものは、事務的見解をただすもの、制度の説明を求めるもの、議案審議の段階でただせるもの、道路改修などの地区要望などとされています。

山北町議会では、対面型・一問一答方式、質問時間60分以内で行っています。

*一問一答方式とは、案件に対する疑問点を一つずつ取り上げ、納得のいくまで質疑、答弁を繰り返す方法です。また、傍聴者にもわかりやすく、緊張感のある深みを持った論戦が展開されています。

議会だよりの原稿は質問者本人が作成しています。

多くの方の傍聴をお待ちしています。

地域主権改革

川村 俊治議員



Q ▶ 国関連 3 法の成立で町は変わるか

A ▶ 関係機関と調整し整理します

質問 「義務付け・枠付けの見直し」により、町が独自の行政サービスを行える項目はあるか。

答弁 町の特徴ある政策として実行しようと考えているものは、県をはじめとする関係機関と調査・協議、調整中です。

質問 「協議、同意、許可・認可・承認の見直し」で町の裁量により行政サービスを行い、成果を上げられるものはあるか。

答弁 町が取り組んでいる事務事業の中で、国・県への協議等が必要なくなったものは、その取り組み方針等を整理し、可能な限り手続きの簡素化を図ります。

質問 計画の策定とその手続きの見直しで、国・県の認可なしで実施できるものは、条例を制定して議会の議決を得る考えはあるか。

答弁 町の総合計画は策定義務や議会議決を経ることはなくなったが、山北町の最上位の計画であるので、山北町自治基本条例に位置づけ、議会に説明していきます。

質問 具体的に町の裁量で

決められるものに住宅政策があるが住宅政策に変化はあるか。

答弁 住宅施策は住宅マスタープランにより町営住宅の整備を進めていきます。

質問 山北駅北側に建設予定の中堅所得者住宅は、この基準が適用されないと思うかどうか。

答弁 中堅所得者住宅は、別の整備基準があり、入居条件も別に基準があります。

質問 今回の改革で幼保一元化あるいは認定子ども園の設置に進むことはできるか。

答弁 幼保一元化の法律がしっかりと決まれば、自由な運営ができるので検討していきます。

質問 地方自治法の改正により、自治体の条例制定範囲が拡大されるが、どう対応するか。

答弁 議員定数の法定上限の撤廃、法定受託事務でも議決事件として定めることのできる議決事件の範囲の拡大、行政機関等の共同設置が可能となった。今後対応を検討していきます。

地域づくり

原 憲司議員



Q ▶ 地域力を活かした地域づくりを

A ▶ 関係団体や地域と調整し、協力支援します

質問 三保地域で地域づくりに取り組んでいるみつまたによる地域づくり実行委員会

鬼嫁へろくり倶楽部・蔭谷虹児ギャラリーは、地域振興や観光の活性化に繋がるものと考えます。そこで、みつまた

による地域づくり実行委員会が取り組んでいる地域づくりや景観づくりにどのような支援策を考えていますか。

答弁 関係行政機関等へ協力支援の要請を行っていきます。

質問 中川水源交流の里施設の紙すき機を利用したやまきた和紙の里づくりを推進する考えはあるか。

答弁 実行委員会や地域と調整し、推進していきます。

質問 紙すきの指導者置き、紙づくり体験や講習会を行い、和紙製品の販売を行う考えはあるか。

答弁 実行委員会と協議し、実施に向け、支援していきます。

質問 鬼嫁へろくり倶楽部は、地域の伝統文化を活用した門入道のストラップなどを作り、地域おこしに取り組んでいます。どのように支援

し、どのように町の伝統文化と観光を結び付けますか。

答弁 貴重で大事な活動団体のため、できる限りの協力支援をしていきます。

質問 県のやまなみグッズの認定を受け、町のホームページなどで、広く町の伝統文化をPRする考えはあるか。

答弁 やまなみグッズの認定を受け、ホームページなどで発信する方向で今後検討します。

質問 ギャラリー蔭谷虹児や堂山地区の村磯邸を観光客の誘致策に活用すべきと考えますがどうか。

答弁 ギャラリー蔭谷虹児が町を訪れた観光客に広くご覧いただけるよう設置者と相談します。村磯邸の活用は今後調査研究を行っていきます。

質問 温泉・みつまた・門入道・ギャラリー蔭谷虹児などを巧みに連携した観光スポットを整備し、元氣な山北づくりに繋げる考えはあるか。

答弁 地域の方々の気が一番ですので、地域の人達や関係団体と協力連携し、観光振興に取り組み、元氣山北づくりに繋げていきます。



岩本 章治議員

農業振興

Q ▶ 農作物被害の救済策は

A ▶ 足柄茶の再興に積極的に取り組みます

質問 東日本大震災・原発事故から5か月、放射性物質の放出は少なくなったものの、依然として続いている。稲わらから牛肉被害、剪定枝堆肥等にも規制が拡大、生産者は八方ふさがりである。

足柄茶生産者も賠償請求はしたが、当面1/2を茶業センターが支払っているが、その後の処置は全く不明で町はこの事実を知っているのか、賠償請求は農協に任せっぱなしではないか。

答弁 茶業センターが仮払した金額は、東京電力に請求し、8月末に入金しました。残額は原子力損害賠償紛争審査会から示されていません。

県西地域農政連絡会と県で調整し、被害額はJAを通じて、東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策神奈川県協議会に報告、弁護士を介して請求した報告を受けました。

町は生産者に対しJAと共同で説明会をしています。

質問 被害者に対してどのような対応をしてきたか。

答弁 南足柄市で検出された翌日、県政総合センターに善後策を要望し、県茶業振興



協議会で放射能汚染対策本部を立ち上げ、6月3日に県庁に出向き、足柄茶ブランドの信頼回復、今後の取り組み強化を要望した。6月8日には県下16市町とJA、茶業センターが合同で、厚生労働省、農林水産省、文部科学省各大臣に、茶の出荷規制に関する緊急要望書を提出した。足柄上地域1市5町の首長が「風評被害に負けてはならない！足柄ブランドの灯は決して消さない」を合言葉に、イベント等で消費促進を消費者に訴えていくことにしました。

質問 茶の刈り捨てで堆肥化するが、根からの吸収の影響はないか。

答弁 農林水産省では、土壌から吸収されたものではないと言っています。

地域振興

Q ▶ 観光資源の活用を

A ▶ 「岩しみず」を生かします

質問 河村城跡は県内でも一級の山城と聞いている。南北の眺望を良くし、東側から本城廓へ観光客の散策路を設置し守る文化財から、守りながら見せる文化財の推進が必要と考えるが。

答弁 河村城跡の中期基本計画で、景観、環境設計が位置づけられ、計画的に間伐や枝打ち等は実施していきます。又、散策する通路を含めて、平成24・25・26年度で整備する計画になっていますので、一部でも散策通路ができるか検討していきます。

質問 国指定天然記念物等スギは推定樹齢2千年、町の誇りであります。等スギの下側から、「岩しみず」が湧き出ているので、町の活性化に役立てられないか。

答弁 今後予定している周辺整備の中で、この湧き水を自由に汲める場所の整備を検討していきます。誘道案内板、更に駐車場等も含め、地元の方々の声を大切に、等スギを守りながら、周辺整備を進めていきます。

河川通路については、酒匂川左岸の河川管理通路、山北町向原(山高町)松田町(庶子)の間を、町道認定するなど利用可能な部分から積極的に活用を図って行くべきと考えるが。



等スギ

質問 岸・向原地域の活性化に大きな期待の持てる酒匂川左岸道路計画(新大口橋、松田町)について町長の考えを伺いたい。

答弁 この路線は、国道246号線の代替道路として、町にとっては大変有効な道路です。今後、有効利用が一刻も早くできるよう、県へ要望していきます。

河川通路については、酒匂川左岸の河川管理通路、山北町向原(山高町)松田町(庶子)の間を、町道認定するなど利用可能な部分から積極的に活用を図って行くべきと考えるが。



瀬戸 恵津子議員

まちづくり

Q ▶ 土地の有効活用への取り組みは

A ▶ スムーズかつ慎重に進めます

質問 丸山地区を準工業地域に用途指定したが、三井造船(株)と企業誘致の折衝をされたか。

答弁 県企業誘致促進協議会の地域産業プロジェクトに位置づけ、県と連携し取り組んでいます。また三井造船とは定期的にトップ会談をセツトし、土地活用の早期促進を申し入れています。今の経済動向では非常に厳しい状況です。

質問 水道施設への協力は今年度で終了するが、どう受け止めたか。

答弁 協力を求めることにより、丸山地区の土地活用が、先延ばしにされるというリスクもあります。延長ではなく終了を契機として、土地活用の具体的なスケジュール等を強く求めていきます。

質問 今後の施設の管理費はどうなるのか。

答弁 道路等のパトロール費用、ゲートの鍵の管理費用、消火栓の定期検査費用、公園の維持管理費用というような経費の負担は、継続していくという覚書があります。

質問 ハイツ&ヴィラ中川の跡地については、県との協議は進んでいるのか。

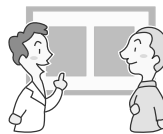
答弁 建物の取り壊しは3月末に完了し、グラウンドを暫定的に借りてスポーツ合宿等の利用に活用しています。土地の購入等は、協議を進めていく予定です。

質問 地元の要望は検討しているか。

答弁 足湯施設、特産品の販売施設等を含めた温泉の駅をイメージするものですが、費用対効果や維持管理費から慎重な検討が必要です。今後地元とも十分協議していきます。

質問 山北駅北側元気づくりプランの今後の進め方は。

答弁 現在、町営住宅建設におけるPFI手法実施方針等の作成と事業者の参加見込みの把握、商業施設への出店企業の可能性調査、道路拡幅整備に伴う土地・建物権利者への補償方針等を整理しています。



事業推進

Q ▶ 今年度新たな事業の進捗状況は

A ▶ 実現に向け取り組んでいます

質問 デマンドバスの平成24年度の運行開始は可能か。

答弁 利用対象地区を三戸保清水地区とし、24年度に実証運行を目指しています。自宅付近から谷峨駅・支所・山北駅周辺等の指定地迄を乗降の場所とし、運行時間も通勤通学、日常生活の利便性の両面から検討し、運賃も低料金としたい考えです。

質問 町内を複数の公共交通が走るなか、各事業の役割と財政負担をどう整理する。

答弁 実証運行のなかで各事業の役割を総合的に判断し本格運行のときに示します。

質問 洒水の滝「二の滝、三の滝」周辺の開発見直しは。

答弁 滝周辺の基礎調査を実施した結果、「二の滝」は急峻な地形で難しく近寄れないので「三の滝」を今年度の秋から整備します。

さらに南足柄市と連携して丸太の森、21世紀の森等への広域的なハイキングルートとしての整備も検討します。

質問 「山北ブランド商品」の開発の状況は。

答弁 山北町商工会に開発委託をし、総菜類とお菓子類

の2分野の商品開発をしている。23年度中に開発商品を町内外に発信します。

質問 スマートインターチェンジ設置に向けた取り組みは。

答弁 観光面、産業面、防災面からも、町づくりの重要な要素である。今年5月に今迄の協議結果を国に提出したが、実現化に向けては事業費をはじめ、さらなる課題の解決が必要だ。

質問 町民伝承の文化遺産の継承と文化財の修理保存は。

答弁 文化財の保存管理に対し一定額の助成は行っているが、修理・修復には膨大な費用も予想され、県の補助制度も調査し案内をしていきます。町民伝承の文化遺産の「道祖神祭」は、文化財には指定されてはいないが、町民と行政が一緒に守り、見せる文化財への取り組みのなか観光振興に活用していきます。





熊沢 友子議員

防 災

Q ▶ 災害に強いまちづくりは

A ▶ 被災者支援システムを運用します

東日本大震災を教訓として、被災者への行政サービスを迅速に行うために、被災者支援サービスの導入が必要と考えます。このシステムは1995年の阪神・淡路大震災で、被害を受けた西宮市の職員によって開発されました。災害発生時の住民基本台帳のデータをベースに被災者台帳を作成し、被災状況を入力することで、罹災証明書の発行から支援金や義援金の交付、救済物資の管理、仮設住宅の入退居など、一元的に管理するシステムです。このシステムを平時時に導入・運用していくことが有益だと考えます。

質問 このシステムについて町長の考えは。

答弁 H21年に被災者支援システム全国サポートセンターより、利用許可を頂いております。今後活用していきます。

質問 今年度から取り組むのか、また職員への周知は。

答弁 職員が研修を受けていつでも稼働できるようにし、職員全員に周知していきます。

防災リーダーについて

質問 防災リーダーとして地域で役割を果たせるような仕組みづくりの考えは。

答弁 自治会を中心に防災組織が組織されており、問題点はありませんが、地域に合った防災リーダーを育てていけるように検討します。

防災倉庫と防災備蓄品について

質問 本庁舎防災倉庫は、天井が低く非常時に作業するには危険です。倉庫の移転または、常時ヘルメット等を備える考えは。

答弁 免震構造で安全なので移動はしません。ヘルメット等は検討します。

質問 備蓄品のサバイバルフーズは、賞味期限2009年のものがありました。この対応は。

答弁 食の安全性の観点から賞味期限10年を基準として、2009年から2011年のものは廃棄します。



まちづくり

Q ▶ 安全・安心な魅力ある町への取り組みは

A ▶ 前へ進むよう準備しています

質問 放射能汚染の測定結果は、今後どのような考えで対策を進めていくのか。

答弁 現在、人体に影響を与える数値は出ていない。状況の変化をみながら定点観測場所以外も測定していきます。

質問 現在工事で川村小の給食は外部委託しているが安全性は確保されているのか。

答弁 外注している業者から検査して安全な食品を使っていると聞いています。

情報開示について

質問 計画段階において、町発注工事の図面や設計書等の閲覧は可能か。

答弁 入札執行以前に設計書等の資料公開は、条例に該当し入札に支障を及ぼすため閲覧は出来ません。

質問 議会として審議する際に、図面等必要な情報が示されるのか。

答弁 審議する際に、図面等必要な情報をお示し出来るように、指導してまいります。

再生可能エネルギーについて

質問 雇用の創出、安定した財源確保を考えた上で、再生可能エネルギーへの取り組みが必要と思いますが、どの

ように考えるか。

答弁 建設費、発電効率、採算性等諸条件を考えると、実現が難しいと考えています。

質問 再生可能エネルギーに採算性があれば取り組む考えはあるか。

答弁 再生可能エネルギーは町にとって必要と認識している。コストや採算性の問題があるので他自治体と協力して検討しているところです。

森林セラピートロードについて

質問 森林セラピートロードがオープンするが、どのようなコンセプトで運営していくのか。

答弁 組織づくり、メニュー開発、ガイドの育成を進め町の観光・地域資源を活用し、山北町のPRに努めていきたいと考えています。

質問 現在認定されているロードではキャパシティが非常に少ないと思うが、どのように考えているか。

答弁 今後新しいロードを開発し、魅力あるメニューを作っていくことが課題であると考えています。



藤原 浩議員



石田 照子議員

住民サービス

Q ▶ 交通手段の確保と利便性の向上は

A ▶ 循環バスの運行方法を検討します

質問 富士急湘南(株)バスに不採算路線の廃止や、減便の動きがあるようですが、町民の生活基盤である交通手段の確保は、将来に向け、山北町の重要課題であると思われま

質問 デマンド式の福祉タクシー(予約をして利用者のニーズに合わせ走行する交通手段)の実証運転対象地域は清水・三保地区とのことですが、高松地区も加える考えはないか。

質問 町内循環バスの運行方法を、バス停からバス停ではなく、施設から施設、自由な乗降など利用者の立場に立った運行方法の見直しはできないのか。

質問 町内循環バスの運行方法を、バス停からバス停ではなく、施設から施設、自由な乗降など利用者の立場に立った運行方法の見直しはできないのか。

質問 町内循環バスの運行方法を、バス停からバス停ではなく、施設から施設、自由な乗降など利用者の立場に立った運行方法の見直しはできないのか。

質問 町内循環バスの運行方法を、バス停からバス停ではなく、施設から施設、自由な乗降など利用者の立場に立った運行方法の見直しはできないのか。

質問 富士急湘南(株)バスに不採算路線の廃止や、減便の動きがあるようですが、町民の生活基盤である交通手段の確保は、将来に向け、山北町の重要課題であると思われま

質問 デマンド式の福祉タクシー(予約をして利用者のニーズに合わせ走行する交通手段)の実証運転対象地域は清水・三保地区とのことですが、高松地区も加える考えはないか。

質問 町内循環バスの運行方法を、バス停からバス停ではなく、施設から施設、自由な乗降など利用者の立場に立った運行方法の見直しはできないのか。

質問 町内循環バスの運行方法を、バス停からバス停ではなく、施設から施設、自由な乗降など利用者の立場に立った運行方法の見直しはできないのか。

質問 町内循環バスの運行方法を、バス停からバス停ではなく、施設から施設、自由な乗降など利用者の立場に立った運行方法の見直しはできないのか。

質問 町内循環バスの運行方法を、バス停からバス停ではなく、施設から施設、自由な乗降など利用者の立場に立った運行方法の見直しはできないのか。

質問 町内循環バスの運行方法を、バス停からバス停ではなく、施設から施設、自由な乗降など利用者の立場に立った運行方法の見直しはできないのか。

事業推進

Q ▶ 小学校の統廃合は

A ▶ 中学校より1年遅れで進めます

質問 これからの山北町を背負ってくれる子供達の教育環境は最良であらねばなりません。町長は小中学校統廃合について中学校を先行して実施する。小学校は当面検討すると答えられていますが、小学校も中学校に合わせ実施される事を表明すべきと考えがいかかか。

質問 私もできれば中学校と一緒に統廃合したいという気持ちですが、地区説明会等の中で通学時間の問題があるのでさらに検討します。

質問 小学校児童や幼稚園児の時代こそ少人数や片寄った男女数の仲間がなく、大勢の子供の中で学び合う事が大切だと思うので、地域の意見はあるにしても、子供の目線からみて小学校の統廃合時期を早めに町長は示すべきと思うがどう考えるか。

質問 私もできれば中学校と一緒に統廃合したいという気持ちですが、地区説明会等の中で通学時間の問題があるのでさらに検討します。

質問 私もできれば中学校と一緒に統廃合したいという気持ちですが、地区説明会等の中で通学時間の問題があるのでさらに検討します。

質問 山北駅前前の住居つき商業ビルの建設について建築手法としてPFIを使って実施すると広報発表されましたが、3月11日発生した東日本大震災と津波の被害で、土木建築資材が不足し高騰する中、PFIによる施行は順調に進めることが出来るのか。

質問 山北駅前前の住居つき商業ビルの建設について建築手法としてPFIを使って実施すると広報発表されましたが、3月11日発生した東日本大震災と津波の被害で、土木建築資材が不足し高騰する中、PFIによる施行は順調に進めることが出来るのか。

質問 山北駅前前の住居つき商業ビルの建設について建築手法としてPFIを使って実施すると広報発表されましたが、3月11日発生した東日本大震災と津波の被害で、土木建築資材が不足し高騰する中、PFIによる施行は順調に進めることが出来るのか。

質問 山北駅前前の住居つき商業ビルの建設について建築手法としてPFIを使って実施すると広報発表されましたが、3月11日発生した東日本大震災と津波の被害で、土木建築資材が不足し高騰する中、PFIによる施行は順調に進めることが出来るのか。

質問 山北駅前前の住居つき商業ビルの建設について建築手法としてPFIを使って実施すると広報発表されましたが、3月11日発生した東日本大震災と津波の被害で、土木建築資材が不足し高騰する中、PFIによる施行は順調に進めることが出来るのか。



小栗 直治議員



質問 PFIは民間利益や資材高騰分も含んだ契約になるので十分検討をお願いしたい。



鈴木 登志子議員

高齢者福祉

Q ▶ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実は

A ▶ よりよい福祉事業を行っていきます

23年度「第5期山北町高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、高齢者福祉事業と介護サービスの整備や介護保険制度の安定的な運営を図るために保険料の見直しを行うとあります。高齢化率28%を超えた山北町の現状の中、これからの「超高齢化社会」を乗り切るために、又住み慣れた地域で安心して暮らせることができるためにも、「第5期計画」の策定は重要なことと思われまます。「第4期計画」の基本目標は達成できたのか伺います。

質問 効果的なサービスの提供は出来たか。

答弁 高齢者福祉事業では、緊急通報システムの提供、あしがら安心キット、火災報知器の配付などを実施し、全体的には効果的なサービスの提供をすることができたと考えています。

質問 人材の質的・量的な確保は出来たか。

答弁 地域包括支援センターには、法に基づき保健師等を3名確保しており、各種研修会などに参加し、スキルアップするための努力をしています。

ます。

質問 利用者の満足度はどのように捉えていますか。

答弁 第5期を策定するにあたっては国から示された設問が多く満足度調査を断念し把握していませんが、第4期では充実したサービスを提供していますので満足度は高いと推測しています。



質問 第4期計画の評価を基に策定される第5期計画の課題は。

答弁 独居世帯及び高齢者夫婦世帯の増加に伴う生活上の安全対策、認知症対策、交通弱者対策など、地域における支援体制の整備等が課題と考えています。

質問 介護保険料の見直しについての考えは。

答弁 現在、町の基準額は3,900円で全国平均の4,160円を若干下回っていますが、介護保険給付基金を有効に活用し、できるだけ保険料の上昇を抑制したいと考えています。



府川 輝夫議員

観光振興

Q ▶ 箱根との連絡道路による観光振興は

A ▶ 魅力ある観光施策に取り組みます

南足柄市と箱根町の連絡道路の整備は、観光振興等を目的に、県西地域全体の研究会において5つのルート案を検討し、県は事業費負担の少ない既存林道を利用するルートCを選定しました。

しかし、ルートCは全線2車線ではなく一部1車線道路のため、大型自動車が行き来できず、観光バスツアー等による集客力、世界ブランドの箱根の回遊性による波及効果が期待外れとなる懸念があります。

質問 道路は県の事業ですが、取り組み次第で当町の集客に大きく影響します。町は、道路幅幅を県へ要請するのか。

答弁 観光バスの通行は大変望ましいが、まずは開通を優先させ、次の段階で道路幅幅をさせていただくことを考えています。

質問 道路開通後の山北町の観光振興に向け、町は研究会等の組織づくりはされるか。

答弁 関係自治体で開通に向け課題や地域活性化策の整備が重要であり、町の組織づくりは開通後に検討します。

質問 開通後だけでなく、今から準備が必要ではないか。

また、箱根への近道として東名大井松田間のストロー化（通過道路となり観光客が山北に立寄らない）の対策は。

答弁 連絡道路から洒水の滝まで3キロの地理的条件を生かし、山北町の新たな観光ネットワークの展開を図ります。

質問 箱根帰りのマイカーを利用する家族・グループ向けに、新たな観光資源等の充実が必要ではないか。

答弁 洒水の滝・三の滝への散策や滝付近の古民家の整備、ふれあい農園の増設等のグリーンツーリズムの推進、特産品等の山北ブランドの開発、森林ふれあい健康セラピー事業を実践します。

また、これらの情報を広く町外に発信してまいります。

質問 観光の回遊性向上を図る新東名のスマートインターチェンジの設置は。

答弁 小山町の設置計画の状況を把握し、県と連携し実現に向けて取り組みます。

議会活動報告

10月	
5	足柄上衛生組合議会定例会
13	議会だより編集委員会
14	議会あり方検討委員会
18	議会だより編集委員会
19	町議会議員県外視察(長野県南木曾町ほか)
21	議会だより編集委員会
24	郡町村議会議長会広報編集委員研修会
26	町村議会広報研修会
31	県町村情報システム共同事業組合議会 全員協議会

9月	
5	第3回定例会・本会議
7	第3回定例会・本会議
8	第3回定例会・本会議
9	第3回定例会・本会議
12	総務環境常任委員会
13	福祉教育常任委員会
15	第3回定例会・本会議
28	足柄西部清掃組合議会定例会
30	第5回臨時会・本会議

8月	
2	議会だより編集委員会
3	箱根・南足柄間道路建設促進議員連盟総会
5	町有施設等現地調査
9	議会運営委員会正副委員長研修会
18	県町村議会議長・議長合同研修会
25	郡町村議会議長会定例会

12月定例会(予定)

12月6日(火)~9日(金)

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ 議会事務局 **75-3653**

●議会ホームページ● <http://www.town.yamakita.kanagawa.jp/gikai/>

議会の傍聴に

おいで下さい



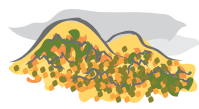
編集後記

今年4月に森林セラピー基地として認定を受けた河村城趾コースで、プレオープンイベントが行われました。町内外から非常に多くの方にご参加いただき、セラピー弁当に舌鼓を打ち、豊かな自然に触れていたこと、参加者の癒しにつながったことと思います。今後町の活性化につながるメニューになると期待しています。

9月定例会は、平成22年度決算認定等の議案審議と12名の議員による一般質問が行われ、白熱した議論が繰り広げられました。

議会だよりは、議会の様子を町民の皆様に分かりやすくお伝えすることで、議会の役割と活動をご理解いただくことが役目だと感じていきます。今回より表紙を一新するとともに、内容についてもより多くの町民の方に目を通していただけるよう、広報委員一同活発な議論を交わし、新たな発想で紙面づくりに取り組んでまいります。

是非皆さんのご意見、ご要望をお寄せくださるようお願いいたします。



- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 熊澤 友子 |
| 副委員長 | 原 憲司 |
| | 渡辺 良孝 |
| | 藤原 浩 |
| | 石田 照子 |
| | 府川 輝夫 |



丸山由美さんのバレーボール教室